



タイトル「**2023年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**(共通)**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT/SSCS1133		
科目名	社会学 1		
担当教員	田 昌禾		
対象学年	1年,2年,3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	金 3		
講義室	1310	単位区分	選
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	総合教育科目		
科目中分類	総合基礎		
科目小分類	文化教養		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-D〔市民的素養・市民的教養〕市民的素養と参加コミュニティに積極的な変化をもたらすために、知識・スキル・価値観・動機を動員することができる。 DP2-A〔日本の精神文化を理解し多様な価値を受容する姿勢〕地球的視点で物事を多面的に捉え、異文化との交流の重要性を認識するとともに、異文化との交流を積極的かつ多面的に行い、相互理解を促進し互恵関係を構築することができる。 DP4-I〔理解力・分析力〕文章表現・数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、問題の解決につなげることができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 A1 グローバル感覚-15% A2 異文化適応-10% D1 市民的要素と参加-50% I1 理解・分析と読解-25%		
教員の実務経験	なし		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発の目標ステージとの対応 2 進期期～ 3 発展期		
科目概要・キーワード	社会学とは、社会に存在する多様な問題に焦点を当て、その対策や改善点について理論的、かつ実証的に検討する学問です。ミクロからマクロに至るまで幅広く、具体的な社会現象を取り上げ、社会から個人、個人から社会への相互循環的な影響という社会学的な観点から分析し理解できるようにします。 （キーワード）社会化、文化、家族、情報、マスコミ、グローバル社会 ※授業形態は講義形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れます。		
授業の趣旨	■ 副題 社会の変化と現状を理解するために、社会学の基礎知識と研究方法などを学びます。 ■ 授業の目的 ①社会人として必要な基礎能力を高めるために、社会学の基礎知識、社会学の歴史や研究方法について理解する。 ②自己啓発力・能力開発力を高めるために、様々な社会現象／メカニズムを解明し、分析する能力を身につけ、理想的な社会の在り方などを修得する。 ③グローバル社会に必要なコミュニケーション能力を高めるために、主体性・積極性・異文化理解の精神などを身に付ける。 ■ 授業のポイント		

	現代社会の様々な問題に対して理論的に学ぶと共に、自ら主体的に考え、自主創造的な問題意識と多角的な視野を持つようにします。	
総合到達目標	■グローバル的な視点で社会的事象を多角的に考察する力を高めるために、知識・スキル・価値観・思考・学習の題材として社会学の基礎知識と研究方法を理解する。また、異文化との交流の重要性を認識するために、社会学的アプローチから異文化との交流を積極的かつ多面的に行う態度を身につける。社会学に関する情報データの収集・分析・解決に関する技能を習得する。 ・社会とは何かについて理解し、社会学の特徴を説明できる。(第2回) ・現代社会の変化と現状を理解し、社会学の観点から説明できる。(第3回～14回) ・ミクロとマクロ連関のメカニズムを具体的な事例で比較しながら、多面的に考察することができる。(第3回～14回) ・具体的な社会現象をとりあげ、それを用いて社会学的な観点で考察できる。(第3回～14回) ・ミクロからマクロまでの社会問題について、社会学研究方法の観点から述べるができる。(第9回、第15回) ・さらに以上の点について、社会学観点から考察することにより、社会学全体に及ぶ考え方、見方について説明ができる。(第9回、第15回)	
成績評価方法	■授業理解確認課題2回(20%)：適用ルーブリックA1・A2・D1・I1 (評価の観点)当該単元の授業理解度を評価します。 (フィードバック方法)授業時間中、あるいはポータルにて解説・講評を行います。 ■中間総括・到達度確認・リアクションペーパー講評1回(30%)：適用ルーブリックA1・D1・I1 (評価の観点)授業内容の理解度や社会学に関する諸概念を社会現象に置き換えて説明できるかを評価します。 (フィードバック方法)授業時間中、あるいはポータルにて解説・講評を行います。 ■授業総括・到達度確認・レポート講評1回(50%)：適用ルーブリックA1・A2・D1・I1 (評価の観点)社会学に関する知識を危機管理やスポーツ科学専門と関連づけて論じられるかを評価します。 (フィードバック方法)授業時間中、あるいはポータルにて解説・講評を行います。	
履修条件	特にありません。(但し、授業中の私語と携帯使用禁止)	
履修上の注意点	初回のガイダンスでは、今後の授業の進め方、授業欠席時の取扱い、レポート課題、中間テストや期末試験等に関する説明を行います。日頃から、社会全般のニュースに関心を持ち、新聞やTV、インターネットなどメディアを通して積極的に情報を収集し、社会学と日常生活との関わりを考えるための基礎知識を構築することが重要です。	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 本授業の内容、目標、学習上の注意点、成績の評価方法などを説明する(A1、D1、I1)。なお、授業の一部を補完するため、あるいは代替するためにディスタンスラーニングを取り入れる場合がある。 ③予習(120分) シラバスの内容をよく読み、授業計画や課題について確認する。 ④復習(120分) 『社会学1』に関する授業の内容、目的、到達目標を確認する。 ※下記15回の授業計画については、履修者の事前知識や習熟度、領域比・人数などに応じて最適化するために多少調整する場合がある。変更がある場合には授業内、あるいはポータルにて指示する。
	2	①授業テーマ 社会学の特徴 ②授業概要 社会とは何かを概念的に理解した後、社会現象に対する社会学的な見方や問いの立て方の特質は何かなど社会学の特徴を説明できるようにする(D1、I1)。なお、授業の一部を補完するため、あるいは代替するためにディスタンスラーニングを取り入れる場合がある。 ③予習(120分) 授業で学ぶシラバスの内容を読み、講義内容に関する最近のニュースや新聞記事などを把握する。 ④復習(120分) 前回の授業内容について復習するとともに、理解が不十分な箇所を復習する。

3	①授業テーマ 社会的行動と地位・役割 ②授業概要 「地位・役割」概念を解説し、行為者間の相互作用のプロセスを理解し、説明できるようにする(D1、I1)。なお、授業の一部を補完するため、あるいは代替するためにディスタンスラーニングを取り入れる場合がある。 ③予習（120分） 授業で学ぶシラバスの内容を読み、講義内容に関する最近のニュースや新聞記事などを把握する。 ④復習（120分） 前回の授業内容について復習するとともに、理解が不十分な箇所を復習する。
4	①授業テーマ 社会的行動と規範 ②授業概要 「社会的行動と規範」概念を解説し、人間に行動を起こさせる動因とそれを規制するものとは何かについて説明する(D1、I1)。なお、授業の一部を補完するため、あるいは代替するためにディスタンスラーニングを取り入れる場合がある。 ③予習（120分） 授業で学ぶシラバスの内容を読み、講義内容に関する最近のニュースや新聞記事などを把握する。 ④復習（120分） 前回の授業内容について復習するとともに、理解が不十分な箇所を復習する。
5	①授業テーマ 逸脱とラベリング ②授業概要 逸脱とラベリングに関する基礎的な概念や理論をふまえながら、現代社会の逸脱について説明する(A1、A2、D1、I1)。なお、授業の一部を補完するため、あるいは代替するためにディスタンスラーニングを取り入れる場合がある。 ③予習（120分） 授業で学ぶシラバスの内容を読み、講義内容に関する最近のニュースや新聞記事などを把握する。 ④復習（120分） 前回の授業内容について復習するとともに、理解が不十分な箇所を復習する。
6	①授業テーマ 教育（学歴と社会階層） ②授業概要 社会の格差や不平等の階層化メカニズムについて学ぶことを通じて、現代社会における格差・不平等問題と学歴との関係性などを分析・考察するための基礎的な知識と視角を習得し説明できるようにする(A1、A2、D1、I1)。なお、授業の一部を補完するため、あるいは代替するためにディスタンスラーニングを取り入れる場合がある。 ③予習（120分） 授業で学ぶシラバスの内容を読み、講義内容に関する最近のニュースや新聞記事などを把握する。 ④復習（120分） 前回の授業内容について復習するとともに、理解が不十分な箇所を復習する。
7	①授業テーマ 社会化とパーソナリティ ②授業概要 社会的な現象の影響から「私」というパーソナリティが形成される過程、「私」が行う社会的な行動と様々な社会現象について説明する(A1、A2、D1、I1)。なお、授業の一部を補完するため、あるいは代替するためにディスタンスラーニングを取り入れる場合がある。 ③予習（120分） 授業で学ぶシラバスの内容を読み、講義内容に関する最近のニュースや新聞記事などを把握する。 ④復習（120分） 前回の授業内容について復習するとともに、理解が不十分な箇所を復習する。
8	①授業テーマ 情報化社会 ②授業概要 情報化社会を社会的に学び、これを通して私たちの「現代」、「現在」を理解し、説明できるようにする(A1、A2、D1、I1)。なお、授業の一部を補完するため、あるいは

	代替するためにディスタンスラーニングを取り入れる場合がある。 ③予習（120分） 授業で学ぶシラバスの内容を読み、講義内容に関する最近のニュースや新聞記事などを把握する。 ④復習（120分） 前回の授業内容について復習するとともに、理解が不十分な箇所を復習する。
9	①授業テーマ 『社会学1』中間総括・到達度確認・リアクションペーパー講評 ②授業概要 今までの授業を振り返り、社会学の観点から考察することにより、社会学全体に及ぶ考え方、見方について自分の言葉で分析を試みる(A1、A2、D1、I1)。なお、授業の一部を補完するため、あるいは代替するためにディスタンスラーニングを取り入れる場合がある。 ③予習（120分） 今までの授業を振り返り、理解していない部分をメモする。 ④復習（120分） 『社会学1』で理解が不十分な箇所を復習する。
10	①授業テーマ 家族社会学 ②授業概要 家族社会学の基礎的概念・理論を学びながら、現代社会における家族の諸相について学ぶ(A1、A2、D1、I1)。なお、授業の一部を補完するため、あるいは代替するためにディスタンスラーニングを取り入れる場合がある。 ③予習（120分） 授業で学ぶシラバスの内容を読み、講義内容に関する最近のニュースや新聞記事などを把握する。 ④復習（120分） 前回の授業内容について復習するとともに、理解が不十分な箇所を復習する。
11	①授業テーマ マス・コミュニケーション(1) ②授業概要 マスコミに関する基礎研究を背景としながら、メディアとコミュニケーションの役割などを理解し、インターネットなど新しいメディアがもたらす公共性の変化、様々な社会・文化の可能性について説明する(A1、A2、D1、I1)。なお、授業の一部を補完するため、あるいは代替するためにディスタンスラーニングを取り入れる場合がある。 ③予習（120分） 授業で学ぶシラバスの内容を読み、講義内容に関する最近のニュースや新聞記事などを把握する。 ④復習（120分） 前回の授業内容について復習するとともに、理解が不十分な箇所を復習する。
12	①授業テーマ マス・コミュニケーション(2) ②授業概要 マスコミに関する基礎研究を背景としながら、メディアとコミュニケーションの役割などを理解し、インターネットなど新しいメディアがもたらす公共性の変化、様々な社会・文化の可能性について説明する(A1、A2、D1、I1)。なお、授業の一部を補完するため、あるいは代替するためにディスタンスラーニングを取り入れる場合がある。 ③予習（120分） 授業で学ぶシラバスの内容を読み、講義内容に関する最近のニュースや新聞記事などを把握する。 ④復習（120分） 前回の授業内容について復習するとともに、理解が不十分な箇所を復習する。
13	①授業テーマ 文化社会学 ②授業概要 社会学の視点から「文化」の概念定義、研究方法について説明する(A1、A2、D1、I1)。なお、授業の一部を補完するため、あるいは代替するためにディスタンスラーニングを取り入れる場合がある。 ③予習（120分） 授業で学ぶシラバスの内容を読み、講義内容に関する最近のニュースや新聞記事などを把握する。

		④復習（120分） 前回の授業内容について復習するとともに、理解が不十分な箇所を復習する。
	14	①授業テーマ 観光社会学 ②授業概要 現代社会における観光のあり方を、現代社会の特徴との関係において分析しながら、現代の「観光」について説明する(A1、A2、D1、I1)。なお、授業の一部を補完するため、あるいは代替するためにディスタンスラーニングを取り入れる場合がある。 ③予習（120分） 授業で学ぶシラバスの内容を読み、講義内容に関する最近のニュースや新聞記事などを把握する。 ④復習（120分） 前回の授業内容について復習するとともに、理解が不十分な箇所を復習する。
	15	①授業テーマ 『社会学1』授業総括・到達度確認・レポート講評 ②授業概要 今までの授業を振り返り、社会学の観点から考察することにより、社会学全体に及ぶ考え方、見方について自分の言葉で分析を試みる(A1、A2、D1、I1)。なお、授業の一部を補完するため、あるいは代替するためにディスタンスラーニングを取り入れる場合がある。 ③予習（120分） 今までの授業を振り返り、理解していない部分をメモする。 ④復習（120分） 『社会学1』で理解が不十分な箇所を復習する。
関連科目	社会学2（RMGT/SSCS 1134）	
教科書	教科書は特に使用しません。	
参考書・参考URL	授業中に適宜指示します。	
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に指示します。 ■オフィスアワー 時間外にアポイントメントを希望する方は、メールで事前に連絡をしてください。	
研究比率		

